

KOCV パッケージの利用報告

～ 東日本大震災で被災された方の心身の安寧を図るための支援活動 ～

文責 光田大輔

1. 活動場所

宮城県仙台市立六郷中学校（被災者避難所） <http://www.sendai-c.ed.jp/~rokugojh/>

2. 日程

- ・5月3日(火) 移動（網島 → 仙台）
- ・5月4日(水) 活動（六郷中学校にて）
- ・5月5日(木) 移動（仙台 → 網島）

3. 担当

- ・主担当：光田 大輔（11-3 ブータン SE）
- ・副担当：吉永 加那（13-3 コロンビア 栄養士）

4. 活動概要

被災者の心身の安寧を図るべく、被災者及び現地ボランティアの方々に鍼灸治療を行うと共に、（施術者がいなくても自身で健康維持・改善ができるように）「自分で出来る温灸療法、及び各種健康法」を伝授する。

5. 費用

○陶器灸セット(温灸器セット)

- ・陶器灸 1,575 円 × 10 個 = 15,750 円
- ・艾（もぐさ） 5,250 円 × 10 個 = 52,500 円
- ・ターボライター 1,890 円 × 7 個 + 送料 600 円 = 13,830 円
（残り 3 個は、私が持っていたものを寄付）
- ・ライター用ガスボンベ 105 円 × 10 個 = 1,050 円
- ・手ぬぐい 210 円 × 6 個 + 157 円 × 4 個 = 1,888 円
- ・艾入れ 105 円 × 5 個（1個2パック入り）= 525 円
- ・灰皿用ステンレスボール 105 円 × 10 個 = 1,050 円
- ・陶器灸入れ(カゴ) = 105 円 × 10 個 = 1,050 円

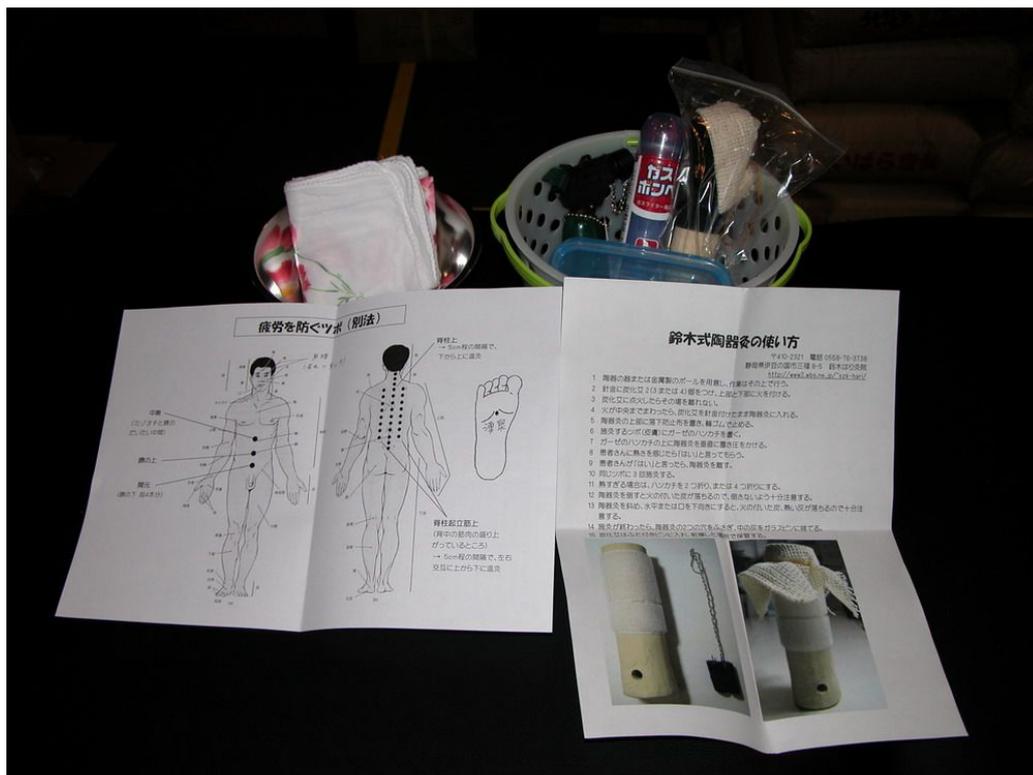
小計 87,643 円



陶器灸

※セット内容は次頁の写真をご覧ください。

※陶器灸とは、陶器でできた温灸器によりツボを刺激したり患部を温めることにより、疲労回復や病状の改善を行う治療法を言います。



陶器灸セット

○竹串療法 ～ 自律神経調整法

・爪楊枝 105 円 × 4 個 (1 個 3 パック入り) = 420 円

※竹串療法とは、新潟大学の安保徹先生と福田稔先生が開発した自律神経免疫療法のことを言います(「竹串でツボ押し」の勧め)(<http://kocv.jp/contents/info/takekushi.pdf>)を参照)。今回は竹串の代わりに爪楊枝を寄贈しました

○交通費・宿泊費

・高速代 (東北道+第三京浜) 往復 7,900 円 × 2 = 15,800 円

・ガソリン代 5,215 円

・ホテル代 5,800 円/泊 × 2 泊 × 2 人 = 23,200 円

小計 44,215 円

○総合計

132,278 円 (内 10 万円を申請)

6. 活動報告

5 月 3 日 (水) は終日移動に費やしました。

翌日 (5/4) は AM8:30 頃に六郷中学校に到着し、受付で挨拶を済ませた後、鍼灸治療及び温灸療法・健康教室のための準備を始めました。

鍼灸治療は全部で 10 人に行いました(施術中、吉永さんは私のサポートをしてくださいました)。避難所生活を始めて約 2 ヶ月なろうとしており、心身の疲労もかなりたまっているのでしょう。施術させて頂いたほとんど全ての方が慢性的な腰痛、肩こりに悩んでいました。中には腰痛・肩こり以外の重たい症状を抱えた方もいて、もう少し継続的な治療が出来たらと思いました。

治療の合間に、温灸療法及びその他健康法の説明をしました(計 3 回)。

・午前中 2 回

→ 現地ボランティアの方へ

・午後 1 回 (鍼灸施術が終わった後)

→ 被災者の方 (十数名)



温灸教室の様①



温灸教室の様②

温灸教室では、被災者の方にモデルになって頂き、温灸器(陶器灸)の使い方、及び疲労回復のための温灸療法について説明をしました。また私たちが帰った後も自分たちで出来るよう、陶器灸 10 セットを寄贈しました。

更には以下の資料を A1 サイズに拡大コピーし、それらの説明を簡単にすると共に、他の避難所の分も合わせ 5 セット寄贈しました(次頁の写真参照)。

・竹串療法

・緊急災害時のタッピングセラピー 2 枚 (TFT :Thought Field Therapy 思考場療法)

→ 地震のトラウマ、恐怖症、不安等を消去・改善するのに役立ちます。

・口呼吸の修正法 その①、その②

→ 口呼吸は万病の元と言われています。免疫力を低下させ、酸素摂取量が少なくなり、様々な病気を引き起こす要因となります。その口呼吸を治すための体操法の資料

・アニマルセラピー (猫の写真)

→ 見ているだけで自然と笑顔になってしまう笑い猫の写真(心のケアとして)



竹串療法、TFT療法、動物セラピー

これからどれくらいの期間、避難所生活が続くか分かりません。今現在でも心身の疲労はかなりのものと思われませんが、更に数ヶ月続く場合には何かしら自分で体調を整える術を見出す必要があると思います。

その一助として、私や他の施術者がいなくても、自分で健康を回復・維持するのに役立つ方法に関する資料をお渡ししました。

鍼灸治療、温灸療法・健康教室の全ての活動、そして片づけを終え六郷中学校をあとにしたのが20:00頃でした。

翌日5月5日(木)は、AM5:30頃にホテルを出て被災地の状況を見に行きました(下の写真参照)。この地にて多くの方が亡くなったことを思うと、とてもやるせない気持ちになりました。また現状を見ると復興に至るには多くの時間が要すると思いましたが、日本の力を信じたいと思います。



被災地①



被災地②

7. 補足 ～ その後

本来でしたら以上で活動報告が終了する筈でしたが、5月7日になって今回の支援活動をアレンジしてくれた仙台在住の友人から、寄贈した全ての陶器灸セットをお返ししたいと連絡がありました。

理由は使う人がいないからとのことでしたが、避難所での火器使用の問題もあったのかもしれませんが。勿論、私自身の説明が拙く、温灸療法の効果を実感させられなかったのかもしれませんが。更には、陶器灸がどう言う物が予め資料を提示し、陶器灸の効果(体験談)もお伝えしてはいましたが(<http://blog.goo.ne.jp/suzunobo18/e/010f28c79e1bc7dd809fa532725d8ed2>)、事前の説明・調整が十分でなかったのかもしれませんが。

そこで誠に勝手ながら、私に陶器灸療法を教えて下さった静岡県在住の鈴木はり灸院 院長の鈴木先生が、4月末に岩手県岩泉町で被災者のために陶器灸教室を開いていたので、鈴木先生経由で下記岩泉町の役場に、青年海外協力隊神奈川県 OB 会からの寄贈と言うことで、陶器灸全10セット寄付致しました(OB 会には事後承認)。

岩手県下閉伊郡岩泉町岩泉字森の越4-14
岩泉町社会福祉協議会

それから他の避難所用のA1ポスター(4セット)ですが、配布を現地ボランティアの方に頼んだのですが、その有用性を他の避難所の方々に分かって貰えなかったらしく、これも返却依頼がありました(本来は私が避難所を一軒一軒回って説明すべきでしたが、今回はその時間が取れませんでした)。

そこでこれの有用性の分かるドクター(和歌山県在住)で、福島県の震災支援を行っている友人にお願いし、福島県の避難所での配布を依頼しました。

結果としては、より広範囲に渡る被災地支援となり幸を奏する形とはなりましたが、次回からはもう少し綿密に事前計画を行い、実行に移すべきと思いました。

なお後日連絡があり、OB 会より提供した陶器灸セットを用いて、6月3日に岩手県岩泉町の被災者の方々に陶器灸教室を開催されたとのことでした。

また、岩手県岩泉町社会福祉協議会発行の「いわいずみ 社協だより 第74号」(平成23年6月15日発行)に、上記内容が掲載されました。しかし、上述の通り陶器灸の提供者はKOCVである旨お伝えしていたのですが、社協だよりには、私の治療院名と私の名前が提供者に挙ってしまっていましたので、この場を借りてお詫び申し上げます。